

保健学研究科（博士前期課程、博士後期課程）

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

（博士前期課程）

鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程は、全学の学位授与の方針及び保健学研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、学位を授与します。

博士前期課程においては、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得した者に修士（看護学）修士（保健学）の学位を授与します。

1. 研究倫理を基礎として保健・医療分野における実践的課題を解決するための研究を実施できる能力
2. 保健・医療分野における優れた専門的知識と技術を獲得し、実践の質向上に貢献できる能力
3. 地域や国際社会の保健・医療分野において、高度専門職業人として果たすべき役割を實踐できる能力

（博士後期課程）

鹿児島大学大学院保健学研究科博士後期課程は、全学の学位授与の方針及び保健学研究科の教育目標に鑑み、以下に示す方針に基づいて、学位を授与します。

博士後期課程においては、以下に挙げる能力を身につけ、所定の単位を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格した者に博士（保健学）の学位を授与します。

1. 研究倫理を基盤として保健・医療分野の実践の発展を支える科学的根拠を解明する研究を自律して実施できる能力
2. 幅広い学識と専門性を基に、多専門職との協働と研究活動を推進することができる能力
3. 地域や国際社会において、保健・医療に関する研究成果を情報発信し、課題解決に取り組むことができる能力

保健学研究科（博士前期課程、博士後期課程）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

（博士前期課程）

鹿児島大学大学院保健学研究科博士前期課程は、学位授与の方針に掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下のとおり教育課程を編成のうえ、実施します。

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

- ①豊かな人間性と広い視野を獲得できるように大学院全学横断的教育プログラムや、博士前期課程共通科目によって専門領域以外の様々な人々と共に学べるように編成し、育成します。
- ②専門領域における基礎的能力を補強するために、専門的学習を促進するために領域共通科目を配置し、育成します。
- ③高度専門職業人としての優れた知識・技術を修得し、地域や国際社会における保健医療に関する課題を解決するための研究力、教育力を獲得できるように専門科目（特論・特別演習・特別研究）を配置し、育成します。
- ④他専門領域を理解し、協働できるようになるために、他領域の専門科目を修得できるように編成し、育成します。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

(博士後期課程)

鹿児島大学大学院保健学研究科博士後期課程は、学位授与の方針に掲げる能力を備えた人材を育成するため、以下のとおり教育課程を編成のうえ、実施します。

1. 進学から学位取得に至るまで系統性のある教育課程の編成

- ①保健学の基礎となる幅広い知識を基に、高度な専門的知識を修得できるように、博士後期課程共通科目を配置し、育成します。
- ②専門分野における質の高い知識・技術を修得し、地域や国際社会における保健医療を発展させるための自律的な研究活動と教育活動能力を獲得できるように専門科目（特論・特別演習・特別研究）を配置し、育成します。
- ③専攻している専門分野を広い視点から捉え発展させられるように、他専門分野の専門科目を修得できるように編成し、育成します。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

学位授与の方針に掲げる能力を育成するために、各科目の目的・目標に応じた方法による教育活動を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

各科目において教育・学修目標と評価基準を明確に示し、厳格な成績評価を行います。

保健学研究科（博士前期課程、博士後期課程）

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

（博士前期課程）

<保健学研究科（博士前期課程）の教育目的>

保健学に関する優れた専門知識・技術をもつ高度専門職業人並びに卓越した教育や研究のできる人材及び離島や国際的な保健医療活動の推進・充実に貢献できる人材を育成し、併せて教育研究の成果及び情報を広く提供し、社会に貢献することを目的とする。

<保健学研究科（博士前期課程）の教育目標>

1. 優れた専門知識・技術をもつ高度専門職業人の育成
2. 学生の能力開発に効果的な教育や独自の研究ができる人材の育成
3. 離島・へき地や地域の保健医療活動の充実、向上に貢献できる人材の育成
4. 国際保健医療活動を推進できる人材の育成

<入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）>

1. 求める人材像

- ・豊かな人間性と高い倫理観を獲得し、保健学を発展させることに意欲のある人
- ・保健学における高度専門職業人としての優れた知識や技術・態度の獲得を目指す人
- ・保健学における卓越した研究や教育を目指す人
- ・離島・へき地や地域の保健医療の質の向上への貢献を目指す人
- ・国際保健医療活動の推進を目指す人

2. 入学前に身につけておいて欲しいこと

- ・保健学とその周辺分野に関する幅広い問題意識
- ・保健学に関する基礎的知識と技術

3. 入学者選抜の基本方針

保健学に関する現象を、深い関心と見識をもって科学的に探求し、それらの成果を人々の健康増進や回復、QOLの向上に役立てられるように公表し、実践に活用していく基礎的能力を有するかどうかを専門科目、外国語科目（英語）、小論文、面接等によって評価します。

（博士後期課程）

＜保健学研究科（博士後期課程）の教育目的＞

保健学に関する科学的探求心を培うことにより、深い知識と高度な専門技術を修得した質の高い教育・研究者並びに離島・へき地や地域の保健・医療における管理・指導者となる有能な人材を育成し、併せて教育研究の成果及び情報を広く提供し、社会に貢献することを目的とする。

＜保健学研究科（博士後期課程）の教育目標＞

1. 高度な専門知識・技術を身につけた管理・指導者の育成
2. 医療専門職としての質の高い教育・研究者の育成
3. 離島・へき地や地域の保健・医療活動において管理・指導者として実践できる人材の育成
4. 国際医療活動において指導者として貢献できる人材の育成

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1. 求める人材像
 - ・保健学の課題について、科学的・倫理的な思考に基づいて自律的に研究し、解決していくことに意欲のある人
 - ・保健学における高度専門職業人としての優れた知識や技術・態度の獲得を目指す人
 - ・保健学の高等教育機関における教育者・研究者を目指す人
 - ・離島・へき地や地域の保健医療施設等において高度な専門知識・技術を身につけた管理・指導者を目指す人
 - ・国際保健において指導者として活動することを目指す人
2. 入学前に身につけておいて欲しいこと
 - ・自律的な問題解決能力や論理的思考能力
 - ・保健学に関する専門的知識と技術
3. 入学者選抜の基本方針

保健学の発展に寄与する研究・教育・実践に対して強い関心と熱意をもち、自律的な研究課題や目標の設定を行い、その分析や解決に創造的に取り組む意欲と能力を有するかどうかを専門科目、英語、面接等によって評価します。